

びふか 議会 です

こんにちは。

2020年2月
北海道／美深町議会



社会科の授業で議場へ

美深小学校6年生が施策発表体験(12～13ページに特集記事)

役場職員住宅 単身者向けから整備 …… 2 ページ

防災情報端末機 より便利に …… 3 ページ

ここが聞きたい 6議員が
一般質問 …… 4～10 ページ

私からの
メッセージ

クラフトビールで繋げる町おこし 高橋克尚 14 ページ
美深町の生活 ケイリン ローズ ノリエガ

わかりやすい紙面になりましたか? … 16 ページ

議会広報アンケート

第112号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

第4回定例会

7200万円減額補正

補正予算
審議

職員住宅建設に1億円
ふるさと納税支援業務にも増額

12月10日に開会した第4回定例会は、一般会計補正予算や条例の制定・一部改正のほか委員会報告、指定管理者の指定などの審議が行われた。また一般質問には6議員が登壇。

会期中には新条例制定の付託審査が総務住民常任委員会で行われ、13日に全議案を可決し閉会した。

主な質疑

役場職員住宅建設へ
単身向け住宅から整備

質問

美深町住環境整備推進計画で

は、民間賃貸住宅の借り上げなど住宅管理の手法を検討するにあつたがどう検討されたか。

総務G 主幹

民間から借り上げる方針

であったが課題が多く、平成30年度に計画の見直しを行い直営という形で推進、用地確保ができたため予算計上した。新規採用職員が町外からくる場合もあり、単身向け8戸を計画している。老朽住宅は一部解体する。

質問 補正に計上する緊急性があるかという疑問と、建設予算が公営住宅建設の金額と比較して妥当なのか。

総務G 主幹

昭和40年代建築の非常に古い住宅だが先延ばしになってきた。なるべく早い着工が必要で、3月までに入札し10月の完成で降雪前に入居できるように進めていきたい。

建設水道課長

公営住宅の方がコスト高なので、民間を参考に単価を低く見積もっている。

原案可決 全員賛成

質問者

藤原・和田 小口・岩崎

がんばる美深農業
品質向上の取組みに追加補正

質問

がんばる美深農業畑作支援事業補助金の総額は件数が増えたのか。フルー

ツトマトの整備事業補助金は毎年かかる補助金であるのか。

農業G 主幹

品質向上の取り組みの増加である。計画と実績

の差は施肥の増加と計画的な輪作実施の2点が追加の理由。

取り組みが薄かった土づくり輪作体系の維持でその効果も表れた。

フルーツトマトの事業は、下川町に建設する集出荷保冷施設整備の補助を行う。

質問者

原案可決 全員賛成 荒川・小口 岩崎・藤原

補正前の額	補正額	補正後の額
56億3,233万円	△7,227万円	55億6,006万円
主な一般会計補正事業		
職員住宅建設工事費		1億円
ふるさと納税支援業務等		6,674万円
後期高齢者医療給付費負担金		△890万円
健康管理システム改修費		148万円
がんばる美深農業畑作支援事業費		80万円
フルーツトマト集出荷保冷施設整備事業費		99万円
畜産クラスター関連事業補助金		△1,060万円
物産館トイレ改修工事費		450万円
チョウザメ研究施設建設工事費		△2,760万円
橋りょう長寿命化修繕工事費		△5,735万円
国庫補助事業道路工事費		△9,927万円
公営住宅修繕費		232万円
仁宇布小中学校建替実施設計業務費		△506万円

アプリサービスでより便利に
防災情報端末機 更新
外出先・仕事先でも町の情報を受信

「情報通信基盤施設（防災情報端末機）の設置及び管理に関する条例」にアプリケーションの取り扱いを定める改正。



新・防災情報端末機

令和2年4月よりスマートフォン端末を利用した防災に関するアプリケーションが開始し、外出先や仕事先でも、町の情報を受信することができ、停電時にも情報が発信され町内外問わず受信可能となる。

主な質疑

防災端末機は令和2年1月より順次更新され、新たな端末機が利用開始となり、従来通り全世帯に配置される。

質問

スマートフォンを持たない住民やサービスを求めない住民に対しては、どのように情報を伝えるのか。

総務G 主幹

自治会組織や地域担当員を活用していく。

質問

アプリ利用方法がわからない人への対応は。

総務G 主幹

町広報に解説文を掲載し、庁舎窓口の説明や、必要に応じて出向いてでも対応したい。

質問者

藤原・和田 小口・岩崎
原案可決 全員賛成

準職員・臨時職員は令和2年度から
会計年度任用職員へ
任用・服務規律などを条例化

美深町職員の任用及び規則を定める「美深町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」の制定

委員会報告から

本条例では、現行の準職員がフルタイム会計年度職員となり、勤勉手当、寒冷地手当などが、5年間の経過措置を経て支給されなくなるものである。

準職員は業務の特殊性から、資格・経験・能力等を考慮して雇用した経過があり、運用にあつては十分な配慮を求めるものとし、全員一致で「原案可決すべきもの」とし本会議で報告した。

原案可決 全員賛成

美深町ではこれまで準職員の任用、勤務条件について、美深町職員と同等の取り扱いがされてきたが、より厳格な対応が求められたことから総務住民常任委員会に付託され審議された。

町の考え方を質す

9 項目の課題に
6 議員が質問！

一 般 質 問

ピロリ菌検査

仁宇布への移住

基本条例制定

山村留学課題

第6次総合計画

チョウザメ産業



廃プラ処理

介護予防自立支援

健康寿命延伸



岩崎 泰好 議員

- ① 胃がんの危険をほぼゼロにできる中高生のピロリ菌検査と除菌の取組を
- ② 『仁宇布に住みたいのですが、住宅がない』移住希望者への配慮は
- ③ 『まちづくり基本条例』制定の機は熟していないか

問

中学生のピロリ菌検査の取組み導入を

答

有効性はある認識
情報収集と検討はする

質問

胃がんの危険をほぼゼロにできる中高生のピロリ菌検査と除菌の取組みについて伺う。

教育長

胃がんに限らず、子どもたちの病気のリスク軽減を図り必要な治療に繋げる事はとても大切だが、学校安全法で位置付けられていないピロリ菌検査を学校の健康診断で実施するには、多くの環境整備が必要で現段階の実施は難しい。

町長

ピロリ菌検査と除菌による胃がんリスク回避の有効性は、有効との認識で、今年度から胃がん検診にピロリ菌検査を導入した。検討に入る時期については、推進の考え方もある一方で、除菌治療に対する慎重な意見もあり、国・道や

質問

仁宇布地区の住宅環境の整備について
①山村留学住宅の整備促進の進め方と教員住宅に空きがある現状の対応は。

問

仁宇布地区への移住希望者への配慮は

答

地域で組織を立ち上げ民間供給を期待

関係機関から指針や先進自治体の成果などの情報収集を進め、検討は加えていきたい。

教育長

現任ホスターと親子住宅6戸。今後の整備は、新年度の校舍改築を優先し、親子留学の希望状況を見極めながら協議し、第6次美深町総合計画策定での議論が必要。仁宇布地区の教職員住宅は9戸整備し、7戸8人が教員住宅に入居、年度により住宅の需要数は変化があり、教職員用として確保していく必要がある。

町長

仁宇布地区での住宅確保は、現段階では考えていない。住宅環境を検討す

る機関についても、現在のところ町として設置する考えは持っていない。仁宇布地域での賃貸住宅の需要があるのであれば、地域などでそうした組織を立ち上げて頂いて民間で供給して頂くことも期待する。



安価で利用可能なハウスも

ほか1件

次期総合計画策定というタイミングに町づくり基本条例の制定を視野に入れた取り組みが必要と思うが「機は熟していないのか」について質問。

① 廃プラスチック処理の状況と資源循環活用の考え方について



五十嵐 庄作 議員

問 わが町に油化還元する施設の導入は

答 本町では取り組む考えはない

質問

美深町の廃プラスチック処理の状況と、今後の地域外排出抑制に対する問題意識をどのように持たれているのか。また、廃プラスチックが自然環境に及ぼす悪影響をどのように捉えているのか。

廃プラスチックを焼却や埋め立てをすることなく油化還元し新たにエネルギー化する設備の導入など自分の町で処理していく考えを持っているのか。

町長

廃プラスチックの状況と本町の処理については、1市2町1村を構成団体とする名寄地区衛生事務組合において行っている。質問の廃プラスチックについては事業者から排出される産業廃棄物と一般家庭から排出されるプラスチックゴミのうち、リサイクルに回すことが出来るものは各市町村によ

り分別回収したのち中間処理施設において検品圧縮し、公益財団法人日本容器リサイクル協会を通じてリサイクルされている。混入している不適物は名寄地域最終処分場にて埋め立て処理となっている。また農業用廃プラスチック類は美深町・音威子府村・JA北はるかで構成する農業用廃プラスチックの適正処理対策協議会と委託契約している業者が最終処理をして廃棄物固定燃料RPFにリサイクルしている。また農業用廃プラスチックの排出を抑制する事で農村環境維持保全に努め、美深町としても分別収集の徹底により廃棄物そのものの抑制を図り環境負荷の低減に努めている。更に廃プラスチックの油化還元については先に述べた通り本町のゴミ処理については1市2町1村を構成団体とする名寄地区衛生

事務組合にて行っており廃プラスチック油化還元本町が取り組む

考えは持っていない。

全国の廃プラスチックリサイクル状況（2018年）



出典：一般社団法人プラスチック循環利用協会

生成油の原料となる廃プラスチック



油化装置とは、廃プラスチックを生成油に変えることのできる装置をいう。

例えば、廃プラスチック原料 1000g に対し、生成油として 600~800g の回収が可能。



小口 英治 議員

- ① 山村留学の課題と町民に対する情報提供について
- ② 第6次総合計画の策定に向けた考え方について

問

仁宇布地区と町内の住民の中での、
存続意義の考えに相違があるのでは

答

美深を選んでもらえるよう努力

質問

平成30年山村留学に関する特別委員会の報告書で8項目にわたる課題点・問題点を指摘しているが、その中で特色ある山村留学だが、PR活動が弱く町民に対しても随時情報提供し理解の醸成を図るべきと補助制度についてもホスターホームと親子留学の公平性の観点からも見解を伺う。

教育長

山村留学制度のPRは山村留学制度推進協議会作成のパンフを町内主要施設7か所に配置、仁宇布小中学校の学校だより全町回覧、広報びふかでの情報提供などで発信し、学校のホームページにも全面的に更新し内容の充実を図っている、支援の在り方は山村留学制度推進協議会で見直しの協議をすすめている。

質問

新学習指導要領では連続性のある教育を進めるために3つの問題点を指摘している。①学校や講師を超えた新たな教育課程編成の構想とカリキュラム、マネジメン

教育長

ト②教員配置、組織の在り方③少子化による学習集団の編成の在り方これら3項目は仁宇布の学校にとっても参考になる指針が示されているが、どう取り組むか。

教育長

仁宇布小中学校は小学から中学生まで1つになつて、様々な事業を進め



仁宇布小中学校

問

双方向の情報共有が今まさに必要

答

町の考えは町民も捉えている

質問

第5次総合計画も残すところ1年余りとなったが町と町民の双方向の情報共有の在り方、地域おこし協力隊、地域人材の育成についての考えは。

町長

広報誌・防災当員制度・地域懇談会の開催・町長への手紙など広報公聴活動に努めている。それぞれの分野で次の担い手をどう発掘するか、あるいは外部からの人材をどう取り込むか今後益々大きな課題で官民一体となつて1つのチームのような形で意識を共に推進していきたい。

地域挙げてのコミュニティスクールも確立されている地区、仁宇布だけでなく美深で育つ子どもたちは郷土愛を持って地域社会に貢献できる人づくりを目指す。

① 健康寿命の延伸と介護予防・自立支援の進め方について



名取 明美 議員

問 介護予防及び自立支援の進め方について

答 福祉計画は重要
しっかり考えていく

町長 現在、取り組んでいる介護予防事業については、各自治会やサロン事業への支援を中心とした運動やレクリエーションを行っており、一定の

質問 美深町の福祉活動の関係機関においては、各事業が盛んに行われ評価が高いと思われる。ただし、今後の自立支援においては、簡単に進めることができないという専門家もいる。第8期美深町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に向けて自立支援は重要なものであるので慎重かつ積極的に行わなければならない。
町長 健康寿命の延伸と介護予防、自立支援の進め方について、現在の自治体における介護予防の取り組み及び介護予防の重点的な政策についてどのような考えられているのか町長の見解を伺う。

成果はあると思われる。今後も各機関と連携を図り、支援が必要な高齢者にはリハビリ専門職の支援を積極的にを行い、悪化を予防し在宅での自立した生活ができるよう、支援する。

町長 我が町においても、十分とは言えないが町に合った施策をとっており、機能している。
質問 今後の介護予防、自立支援、健康寿命について町長の見解を伺う。
町長 日曜日の行事はフレンドバスが利用できるため、参加を諦めてしまう方がいる。ボランティアの送迎を募集し、参加を促していくことで本人の強い気持ちを尊重する町づくりをしていくことが重要だと考えるが。

2020年度
質問 国の施策に対し自立支援は慎重かつ積極的に行っていく必要があると思われる。自立支援におけるリスクについて町長の見解を伺う。

町長 ボランティアの方々の事を考えながら追及していく姿勢を基本とし考えていく。
町長 若干のリスクはあるものの、利用者の気持ちを大切にしながら、我が町の実態に合わせて努力していく。

利用者本人の気持ちやボランティアの支援を大切に、町に合った準備をしていく。
また、福祉計画は重要であるので、しっかりと考えていく。

質問 自立支援において、利用者本人に強い気持ちを持つってもらうためには、どのような町づくりを行っていくのか。
町長 利用者本人の気持ちやボランティアの支援を大切に、町に合った準備をしていく。
また、福祉計画は重要であるので、しっかりと考えていく。





田中 真奈美 議員

① 福祉部門とスポーツ部門の連携による健康寿命の延伸について

問

健康寿命の延伸を図る福祉とスポーツ事業の連携と今後の取り組みは

答

健康寿命に結び付けた事業を推奨していく

質問

2025年に迎える超高齢化社会の問題や後期高齢者の医療費引き上げなどを考えると、これまでに以上に健康寿命の延伸が大切と考えるが、幼児期から高齢期まで一貫した健康づくりを進めるために、福祉とスポーツ部門の連携の強化、インストラクターの育成や健康寿命の延伸に向けての今後の取り組み、予算措置を含

めた必要な支援を考えているのか。

町長

健康寿命の延伸を図るため、

ライフステージに合わせた運動の継続は有効と考えており、町内スポーツ団体との連携をしながら事業の拡充を図られるように進めていく必要がある。福祉部門でも近年様々な効果を求める声もあり、ニーズに応じた指導者活用も検討していかなければならぬ。必要な支援については協議を行い取り進めていき、今後は高齢者に対する介護予防だけでなく、生活習慣病の予防や重症化予防などの保健事業との一体的な取り組み



認知症予防に効果 シナプソロジー普及員講習会

みも必要。関係機関の意見を取り入れながら効果等も検討したうえで支援していきたい。

質問

若い世代から予防を行っていく必要があり、働き盛りの町民を対象とした事業支援は考えているのか。

町長

生産年齢が中心になっっている働き盛りの町民がスポーツや福祉部門の参加率は高くなく、意識の問題も大きい。しかし啓

質問

子育てなどで健康面にまでお金をかけられないという声もあるのだが、健康づくりへの支援は考えているのか。

町長

新しい芽を大事にし、少しでも健康寿命に結び付けていくような事業を推奨していく土壌を町として作っていかねばならない。高齢者、福祉、介護等の計画づくり等についても継続し、福祉、スポーツ、文化等について努力していきたい。



NPO法人びふかスポーツクラブ
新事業レディスポ

① チョウザメ産業の推進について



和田 健 議員

問 販路拡大は営業担当を配置してでも実施すべきでは

答 ふ化育成技術の確立や環境整備に重点を置く段階



今年度はキャビア3kgを生産

質問 札幌市内ホテルや飲食店での反応は良好と聞く。販路拡大に営業担当を配置してでも着手するべきでは。

町長 今年度のキャビアの生産量は約3kg、魚肉の販売数量は昨年度の478kgから今年度603kgと増加している。ようやく動きだした事業だと認識して頂きたい。

質問 チョウザメの産業化を目指した事業も3年目に入り、試行錯誤を重ねながら一進一退の状況と察する。町内でも少しずつチョウザメ料理が食べられるようになったが、販売戦略上の課題、展望は。

町長 元々魚肉の販売では収支が成り立つ事業ではないため、営業担当の配置までは厳しい。今重要なことはふ化育成技術の確立と良質なキャビア生産のための育成環境を構築、整備することであり、北大水産学部や関係機関の指導協力を仰ぎながら進めていく。



キャビア商品化に試行錯誤

町長 努力が足りないかもしれないが、徐々に浸透してきているのではないかと感じている。美深町においては3年以上の実績が、ここにきて本格的な産業化を目指すことに町民からは依然として厳しい意見も聞かれる。もっと情報共有が必要では。

質問 チョウザメ育成に関しては、美深町において3年以上の実績が、ここにきて本格的な産業化を目指すことに町民からは依然として厳しい意見も聞かれる。もっと情報共有が必要では。

町長 美深は30年もやっているというのだが、本格的に始まったのは2、3年前から。建設に1年かかっているが、まだまだ満足に稼働できておらず、様々な問題噴出に随時対処している状況。焦らずにじっくりと取り組んでいきたい。

町長 役割にチョウザメ推進委員会を設置し、職員も若手から専門的な者まで配置している。美深は30年もやっているというのだが、本格的に始まったのは2、3年前から。建設に1年かかっているが、まだまだ満足に稼働できておらず、様々な問題噴出に随時対処している状況。焦らずにじっくりと取り組んでいきたい。

町長 ザメ推進委員会を設置し、職員も若手から専門的な者まで配置している。美深は30年もやっているというのだが、本格的に始まったのは2、3年前から。建設に1年かかっているが、まだまだ満足に稼働できておらず、様々な問題噴出に随時対処している状況。焦らずにじっくりと取り組んでいきたい。

質問 町民との協働のまちづくりと言われるが、チョウザメ事業は美深町にとって、その重要な要素となるのではないかと。その一環としてチョウザメ事業を進める考えは。

所管事務の調査は、常任委員会に与えられた固有の権限で委員会独自の判断で自主的に行うことができる。

条例案やその他議案の立案のためや、課題のある具体的な事務の改善策を究明するための調査が主で、継続審査を行う旨の議決を経て閉会中も調査することができる。

総務住民 常任委員会

調査日

令和元年10月3日

調査事項

介護予防の現状と課題

まとめ

現在介護予防は地域包括支援センターの運動機能向上教室や社会福祉協議会のふまねっとなやサロン、笑いヨガなどが行われている。

特に社会福祉協議会は、地域福祉の推進役として、ふれあい広場・住民自治福祉大会・全町シニア元気アップフェスタの事業を行っている。

平成28年からは介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みも始まり事業費の補助を受け行っている。今後はより生活に密着した生活支援ボランティアが必要になることも予想され、現在生活上の困りごとのニーズを把握中であり、来年度にかけボランティアの確保と待遇面の整備も含め新たな仕組みについて協議が行われる。

社会福祉協議会が担う役割は大きいものがあり、取り組む内容も増加している。今後も住民ニーズに対応した運営が円滑にできるよう町として支援の充実を図ることが求められている。

高齢化により社会保障環境の厳しさが増し、健康増進の取り組みが医療費の削減や介護保険料の抑制にもつながることから、介護予防事業だけに限らず、体力維持や健康づくりを行う組織と連携を重視しながら、町民の健康づくりが前進するよう各種事業の充実を図っていくことが必要である。



産業教育 常任委員会

調査日

令和元年10月8日

調査事項

- ①美深観光の拠点「びふかアイランド」の現状と課題
- ②農業の現状と課題

まとめ

調査事項① 入込客と売上高を基に現地調査と聞き取り調査を行った。現状は、キャンプ施設やコテージ運営に努力の跡がみられるが、温泉本体は経営努力が反映できていないことから以下の点に留意して課題解決の方向性を見出すよう強く望む。

①顧客のニーズがどこにあるのか観光の傾向の把握 ②きめ細かな接客対応による顧客満足度の向上を図る ③経営改善計画の策定とそれに基づいた経営努力 ④行ってみたいくなるようなメインの遊具施設が必要であり研究導入を図るべき ⑤有効活用されていない部分やコテージの利用に課題 ⑥指定管理者の忠実な計画遂行と運用を進めるよう、適時適切な行政指導を行うこと

調査事項② 現地調査を含めて、美深町農業の現状と課題について調査を行った。

美深町独自の「がんばる美深農業」畑作と酪農への支援事業の推進は、特筆すべき事項として評価。農業者の高齢化や担い手確保対策、農作業の人手不足、鳥獣被害拡大への対応、農用地利用改善事業の問題点など課題は多く改善策を見出す努力が必要。

新たな可能性のある無加温ハウスなどの栽培手法には、助成措置を講ずるなどの検討が必要。





議長 ただいまの児童出席数は26名出席です。定足数に達しておりますので、ただいまより令和2年第1回美深小学校6学年社会科学習施策発表会を開会いたします。

それではAグループより発表をお願いいたします。

Aグループ 人口減少移住促進 僕たちは移住促進をしたいと思います。なぜなら人口が少なくなると税金も少なくなるからです。税金を上げ、新しい施設をたくさん作ったら人が来ると思いました。

Bグループ 室内アスレチック 私たちは美深町の子どもの願いにについて考えました。室内のアスレチックや疲れた時に休む図書スペースがあり飲食店や売店があると思います。これが実現すれば子どもが安全に楽しみ遊べて親も安心して子育てできる。そんな町に



なると思えます。働きやすい職場を今の美深は若い人がいなくなるので、誰でも働きやすい職場を作ることがいいと考えました。



Cグループ 仕事場を増やし住宅を建て会社が負担したの、障害のある人や体の不自由な人たちでも働けるような仕事場を考え、働く人が美深にきて人口が増え経済的にもよくなると思えます。

Dグループ スポーツでまちおこし 僕たちはスポーツを美深の特色にするためにどうするのがいいかを考えました。美深にはよい選手がいるので、もっといい運動場や綺麗なホール、スポーツ専門学校を作り、オリンピックに全面的に協力してどんどん観光客を呼びたいです。美深がスポーツで楽しく明るく健康な町にしたいです。



新企画 未来を担う子ども達と 第3弾

新企画シリーズ・議長との座談会「私が町長になったら」

今回は、美深小学校の6年生27人（1人欠席）が社会科授業の一環として役場見学と議会の議場見学、そして議会のことや自分たちが思うまちづくりについて授業の中でグループごとに考える時間をつくり施策発表体験を行いました。

議場に到着した児童は議会と同じように議長の進めで「令和2年第1回美深小学校6年生社会科・学習施策発表会」7グループがそれぞれのテーマで施策を発表、ユニークな提言には議場からもうなずきの声がかかる場面も。

議長の講評や校長先生からは、「一人一人が美深の課題は何か、それを解決するにはどうしたらいいのか、真剣に考えての今日の発表」との言葉。将来、実現につながることを期待して。

美深町議会 議会広報特別委員会

やインターネットで広め、より自然の大切さを知ってもらえるような町にしたいと思っています。



Eグループ 自然パークの設立
僕たちは美深町の自然をよりよくするために、自然パークという施設を作ろうと思います、実現させるために、美深町の人々が募金活動をして自然パークが完成したら他の町にもパンフレット

美深をもっといろいろな人に知ってもらうために野菜で有名になろうというのが私たちの考えです。

Fグループ 野菜でまちおこし
私たちは美深の野菜を食べてもらい、野菜を通して美深を有名になるために道の駅で野菜祭りを考えました。
なるべくカボチャをメインにしてほかの野菜の販売もします。



イラストや図による提案も

議長

ただいま提案のありました施

Gグループ 農業高校を作る
私たちは美深校を建設したいと考えています。
生徒は高校にいなから農業の仕事をする事ができ、高校を卒業してもそのまま農業ができるシステムにしたいと思っています。
高校ができるとう人口が増え、商業なども盛んになり、それにより農業以外の目的で来てくれる人が増え美深町から美深市にするのが目的です。

議長

全員賛成です。したがって施策は可決されました。



議長

全員賛成です。したがって施策は可決されました。

議員 全員挙手

策について賛成の者は挙手願います。





料金受取人払郵便

名寄局承認

43

差出有効期間
令和2年12月
31日まで

郵便はがき

0982290

中川郡美深町字西町 18 番地

美深町議会事務局
議会広報特別委員会
アンケート調査 係
行き

切り取り線



応募者情報 (○で囲んでください)

性別	男	女	
年齢	20歳未満	20歳~39歳	40歳~59歳
	60歳~79歳	80歳以上	
お仕事	会社員	公務員	自営業
	会社役員	自由業	専業主婦(夫)
	パート・アルバイト	無職	その他

まちの課題を…まちの明日を、
語り合う広聴へ!

募集中!
随時開催

出前講座 と 意見交換会



2人以上のグループで受け付けています。
ミニ講座とワークショップ方式で
ひざを交えて意見交換をいたします。

お気軽にご連絡ください。
お申し込みをお待ちしています。

美深の住人となり、
来て7年目まだよくは、
分からん。
美深の良いところ、魅
力は、何処だろう、周
りを今一度白紙になり
見てみよう。
函岳の魅力は山の頂
からオホーツク海から
日本海までを望み、日
本海に浮かぶ利尻島の
利尻富士の勇姿に感動。
仁宇布に1万人を超
える人々を毎年呼び込
むトロッコ王国の存在
に驚く。
松山湿原と名水百選
に選ばれた名水と滝。
幾つ魅力を数えるこ
とができるかなあ。
私は美深の住人とし
て町の魅力の分かる住
人の一人となり、更に
広げて行きたい。



五十嵐 庄作 記

議会の動き・予定

- 11/19 議会広報特別委員会
- 11/29 全員協議会
- 12/3 議会運営委員会
- 12/4 議会広報特別委員会
- 12/10 第4回定例会 開会
- 12/10 提案説明、一般質問
- 12/11 総務住民常任委員会付託事件審査
- 12/12 総務住民常任委員会付託事件審査
- 12/13 議会運営委員会
- 12/13 本会議、議案審議、定例会閉会
- 12/13 議会広報特別委員会
- 12/19 議会広報特別委員会
- 1/15 議会広報特別委員会
- 1/20 産業教育常任委員会所管事務調査
- 1/21 産業教育常任委員会所管事務調査
- 1/23 議会広報特別委員会
- 1/30 第1回臨時会
- 1/30 全員協議会
- 2/10 議会広報特別委員会
- 2/14 総務住民常任委員会所管事務調査
- 2/21 全員協議会
- 2/28 議会運営委員会
- 3/2 第1回定例会 開会
- 3/12 一般質問
- 3/16 予算特別委員会
- 3/17 予算特別委員会
- 3/18 本会議、議案審議、定例会閉会

予定が変更になる場合もございます。事務局(2-1651)にお問い合わせください。

議会広報について、 あなたのご意見を お聞かせください。

アンケート調査にご協力をお願いします。



- 問1 議会広報を通して、議会の様子があなたに伝わっていますか。
- 問2 定例会のご案内は議会広報【予告版】としてリニューアルしましたが、議会への関心は増しましたか。
- 問3 定例会後速やかに議会広報【速報版】を発行する取り組みを進めていますが、議会への関心は増しましたか。
- 問4 興味をもって読まれた記事・関心を引いた記事は（複数回答可）
審議内容 一般質問 委員会報告
私からのメッセージ 議会の動き
新企画の小・中・高校生との座談会
函岳のめ 編集後記
その他（ ）
- 問5 議会広報特別委員会では、広聴の充実のため「出前講座と意見交換会」を企画しています。町の様々な課題について、意見交換してみたいとお考えですか。
- 問6 他の市町村議会広報では情報共有のため、さまざまな広報活動を進めています。最初に取り入れたらいいと思うものは何でしょうか。
ホームページの充実 議会中継
議会広報モニター
その他（ ）

お答え（○で囲んでください）

問1 不十分 ふつう 充分

問2 減った 変わらない 増した

問3 減った 変わらない 増した

問4 審議内容 一般質問 委員会報告 議会の動き
私からのメッセージ 函岳のめ 編集後記
新企画の小・中・高校生との座談会
その他（ ）

問5 してみたい したくない どちらともいえない

問6 ホームページの充実 議会中継
議会広報モニター
その他（ ）

切り取り線

ご意見（公開・非公開）

Blank area for providing comments, with horizontal dashed lines for writing.

- ご記入が終わりましたら、切手は貼らずにご投函ください。
- ご協力ありがとうございました。貴重な皆さまのご意見を紙面に活かし、開かれた議会の充実に努めます。なお、意見の公開を望まない方は、非公開の欄にチェックをいれてください。
- アンケート締め切り
令和2年3月31日（当日消印有効）



編集を終えて

▼「週刊誌の中づり広報の議会広報が、町民の目を引き付けている。議会に、町政に、興味を持つきっかけになれば。議員が思いを込め、発案した取り組みだ。」という記事が昨年12月14日付けの朝日新聞の紙面に掲載された。しかも全道版の5段抜きの出だしである。

▼さらに北海道新聞・中空知新聞にも後追い記事が続く。▼正直、その扱いに驚き「知らせる」の重要な意味と役割を改めて噛み締めている。▼朝日新聞の記事の終わりにには、「12月議会では約40席が満席になるほどに。」

▼「議会の動きをうまく伝えることができたのだろうか。」委員は自問自答と真剣な議論を繰り返して、今日も紙面づくりに。